
高橋秀男* キリシマシャクジョウ伊豆神津島に 産す

Hideo TAKAHASHI* : *Burmannia championii* Found in Isl. Kouzu, Izu.

キリシマシャクジョウ *Burmannia championii* は四国（土佐，杉本氏による），九州，沖縄に分布しているヒナノシャクジョウ科の植物であるが，筆者はこれを1974年秋に伊豆神津島で見出した。神津島産における個体群では，花茎の高さ6～10 cm，花は単生する個体が多く，僅かに2花をつけるものを混えており，花筒には狭い翼があり，花は卵形，長さは4～5 mm であった。本種によく似ているシロシャクジョウは花筒に広い翼があり，花は倒卵形，長さ8～10 mm でキリシマシャクジョウに比べ大きいことで識別できる。またキリシマシャクジョウは岐散花序をなすが，神津島産では多くの花が単生していたため，この特徴ではシロシャクジョウと区別できない。この年に大場達之氏が九州高隈山で典型的なキリシマシャクジョウを採集してこられた（学研中高生図鑑野草Ⅱ，単子葉類 p. 135 に図あり）ので，それとの比較検討ができた。

生育地は照葉樹の林床の落葉が堆積した所であり，個体数は少なかった。神津島にはシロシャクジョウの分布は記録（鈴木 泰：伊豆諸島植物分布目録）されているが，キリシマシャクジョウは今回が新発見であり，本州でもまだ記録はないようである。

なお，この調査中，同属のヒナノシャクジョウのほか，ホンゴウソウ科のウエマツソウとホンゴウソウ，ラン科のシュスラン，ヤクシマアカシュスラン，オオシマシュスランなどがちょうど開花期であった。

• 神奈川県立博物館 Kanagawa Prefectural Museum, Yokohama, Kanagawa Prefecture